

生活支援センター「日帰り旅行」

今年度は小グループに分かれて日帰り旅行に行ってきました。
9月から順番に、ニッケパークタウンやみとろの丘に出かけた様子をお伝えします。

みとろの丘散策「生活介護・入所」

10月16日に、日帰り旅行に行ってきました。コロナウィルスが「5類感染症」に移り、昨年度から旅行が再開されましたが、利用者さん方が年齢を重ねる中で体力の低下と怪我のリスクを考え、安全に楽しむことを第一に、今年の旅行は団体での旅行ではなく、「少人数のグループで、近場で散歩を楽しむ」に決まりました。行き先は雰囲気や職員との関わりを楽しめる方たちなので移動に時間がかからず、短い時間のドライブで植物や芝生など自然を感じられる、みとろの丘へ行ってきました。

今までも何度か利用させてもらっていますが、リニューアルしてからは初めての訪問で、おしゃな施設になつていました。以前との違いを肌で感じながら屋内型の植物公園を散策しました。一目散に我先と歩く方や、自分のペースでゆっくり歩く方、職員と一緒に各々好きなペースで楽しく散歩をしてきました。長いスロープを歩き、たどり着いた先のカフェスペースでは植物に囲まれたベンチで

コーヒを飲んだり、ケーキやアイスを食べてゆっくり過ごしてきました。この場所は普段から天気を気にすることなく見て、触れて楽しめる場所です。この日は天気が良く屋外のベンチでも、風を感じながらゆっくりと楽しめた旅行となりました。言葉はなくても、表情や仕草で普段見られない姿、嬉しそうな様子がたくさん見られ、とてもいい旅行になったのではないかと思います。

(生活支援部 芝原由子)



食事とカラオケを楽しむ「生活介護・入所」

余暇支援委員会、今年度も日帰り旅行を企画しました。今年度は昨年度から大きく形態を変えることとなりました。その理由としては利用者さんの高齢化や体力低下がみられるので、利用者さんの旅行中の安全・安心を第一に考えた結果このような形になりました。しかし、ただでさえコロナの流行などで不自由なことが多くなってしまう施設生活で、利用者さんが楽しみにしている日帰り旅行をどうにか安全にかつできる方法はないかと委員会でも何度も話し合いました。色々な案が挙がりましたが、結果、今までのように大人数で動くのではなく、少人数の班に分散してマンツーマンに



近い体制と近場の場所での実施することになりました。その結果ニッケパークタウンで食事とカラオケを行うことに決まりました。当施設にはカラオケが好きな利用者さんがとても多いので非常に楽しんでいただける旅行になったのではないかと思います。実際に実施すると多くの利用者さんが楽しかった、また行きたい、と言ってくれました。少人数で実施することで利用者さんの安全確保とたくさん歌を歌えたことがいい結果になったと思います。今回の旅行でも多くの改善点など見られましたが、今後も安全・安心を第一に考え、次年度もより利用者さんの楽しみに沿えるように行っていきたいです。

(生活支援部 佐野基文)



買い物とカラオケを満喫「生活介護・通所」

10月25日(金) 生活介護(通所)のメンバーとニッケパークタウンで買い物とカラオケを楽しんできました。

まず到着してからはサイゼリヤで腹ごしらえです。事前にお店からメニュー表をお借りしていたので、当日までに皆さんに確認してもらいメニューを決めていました。行きの車内では、注文する予定の食べ物のお話で盛り上がりつつありました。サイゼリヤに到着してランチとデザートが運ばれてくると、皆さんペロリと平らげて大満足でした。

昼食後カラオケまでの時間は、各班に分かれてニッケパークタウン内を散策。スタヤで熱心に本を見ている人やペットシヨップで犬のハンドパペットを購入して、帰るまでとても大切に抱えておられる人など様々な時間を過ごしました。

お待ちかねのカラオケが始まると、最初は少し緊張していましたが、他の人が歌い出すと緊張もほぐれていきました。昭和、最近の流行の曲まで、みんなが知っている曲が出ると、自然と

全員で合唱になりとても盛り上がりつつありました。

帰りの車内では、次はどこに行けるかなあ〜と早くも来年を楽しみにされていました。

(生活支援部 谷川智計)

